

基本目標4 豊かな心身を育み、歴史・伝統・文化を大切にするまちづくり

4-1 教育環境の充実

■関連するSDGs



■現状と課題

○本町に育つ全ての子どもについて、小学校に就学する際に学校環境や人間関係、学習等に悩んだり適応できなかつたりすることがないよう、幼小連携の強化や就学前教育の充実に努めています。



中学校での授業風景

○小中学校を対象に毎年度実施される「全国学力・学習状況調査」では、全国平均と比べて、本町は高い水準を保っていますが、今後も学力向上推進委員会等で取組の評価及び情報共有を図りながら、各校での取組を充実していく必要があります。

○不登校の児童生徒数については減少には至っておらず、今後、更なる未然防止と早期発見・早期対応に向けた取組を進めていく必要があります。

○特別支援学級へ入級を希望する児童が多くなってきており、今後も多くなることが予想されるため、支援体制等について更なる充実を図っていく必要があります。

○ICT機器の整備が進み、授業での活用も進展していますが、今後より一層教師のスキル向上や、授業内容の充実、インフラの維持・更新が求められており、さらなるICT教育を推進していく必要があります。

○本町において子どもたちが健やかに成長できるよう様々な面で青少年健全育成に努めていますが、子どもたちが小学校から中学、高等学校へと成長するにつれて、地域や社会への貢献活動に取り組むことが出来る機会や場づくりが求められます。



ICTを活用した授業

■施策の方向

(1) 幼小連携（幼児教育と小学校教育）の推進

- ①小学校以降への接続を見据えて、幼児教育の充実を図ります。
- ②教育計画の位置づけにより、保育士・教職員間の情報共有や連携を深め、子どもたちが小学校へスムーズに移行できるような教育を進めます。

(2) 学校教育の充実

- ①児童生徒の実態に即した具体的な目標及び成果指標を設定し、一人ひとりの学力の向上に取り組むとともに、学力向上推進委員会等による取組の評価や情報共有により、各校での取組の充実を図ります。
- ②各小中学校のコミュニティ・スクール（※）（学校運営協議会）では、地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めます。
- ③家庭教育支援チーム「とらいあんぐる」の支援員による情報誌訪問配布と相談活動を通して、子育てや教育に関する各家庭との連携を進めます。
- ④小中学校において、副読本や地域の人材を活用しながらふるさと教育の充実を図ります。
- ⑤児童生徒の生活・学習習慣や生徒指導上の問題に対して、関係者をはじめ SC（スクールカウンセラー）（※）や SSW（スクールソーシャルワーカー）（※）等の専門職とも連携し、未然防止と早期発見・早期対応に向けて取り組みます。
- ⑥心身に障がいのある児童生徒については、個別の教育支援計画（つなぎ愛シート）を基に家庭とも情報共有を行いながら、特別支援教育の取組の充実を図ります。
- ⑦各小中学校における ICT 教育環境の整備と ICT を活用した教育内容の充実を進めます。
- ⑧各小中学校において、部落差別の解消に向けての人権教育を推進します。



ふるさと講座

(3) 青少年の健全育成の推進

- ①学校・家庭・関係機関等が連携して、課題を抱えた児童生徒や家庭の情報共有を図りながら、不登校やいじめ等の未然防止と早期発見・早期対応に努めます。
- ②青少年育成町民会議に賛同する 25 団体で、毎月 1 日、15 日を「あいさつ運動の日」とし、毎月第 2 火曜日を「湯浅町安全安心の日」として、児童生徒の通学路付近であいさつ運動を展開します。
- ③高校生が小学生の学習を補助する学習支援教室や、学校・学年の枠を越えて児童生徒と交流を図る機会を提供します。

4 - 2 生涯学習の推進

■関連する SDG s



■現状と課題

○本町では、自然、歴史、文化、芸術の多様性を最大限に活かしながら、住民一人ひとりが学習・スポーツによる交流を通して自己の人格を磨き、豊かな人生を実現する生涯学習を推進しています。



歴史と文化に触れるハイキング

○生涯学習は、町民の学習活動を支援し、生きがいのある心豊かな町民生活やまちづくりに活かしていくため、湯浅えき蔵を拠点にさまざまな講座や教室の実施に努めています。また、国際化、情報化、少子高齢化など急速に変化する社会情勢に対応するため、地域交流の活性化や地域課題の解決につながる学習機会の提供を進め、その成果が地域社会、まちづくりに還元するよう努めるとともに、町民の主体的な学習の支援に努めます。

○生涯スポーツは、ライフスタイルや年齢、体力、運動技能、身体能力、興味等に応じて、スポーツのもつ多くの意義と役割を暮らしの中に取り入れることが大切です。全ての住民がいつでも、どこでも楽しみ、満足感や充実感を得られるようなスポーツや運動に取り組むことができる環境づくりに努める必要があります。



マラソン大会

■施策の方向

(1) 生涯にわたる学習の充実

- ①各種教室をはじめ、子どもを対象とした学習・体験型の教室、講演会等の開催により、多世代が学び、交流できる機会を提供します。
- ②生涯学習の拠点となる公民館、教育集会所の維持管理を行うとともに、駅前複合施設「湯浅えき蔵」内の図書館や地域交流センターを積極的に活用し、生涯学習の場の充実を図ります。
- ③生涯学習講座の充実に加えて、開催情報を公民館リーフレットや広報ゆあさ、町ホームページ等で周知することにより、住民のニーズに応えられる講座・教室の実施に努めます。
- ④学習成果発表の機会と学習で得た知識や技能を地域還元できる機会の充実を図ります。
- ⑤差別をなくすための人権教育を推進します。



町立図書館（湯浅えき蔵内）

(2) 文化・芸術活動の振興

- ①湯浅町文化協会をはじめ、文化・芸術活動サークルや文化団体の育成と活動の支援に努め、文化・芸術意識の高揚を図ります。
- ②文化・芸術活動を発表する場を充実するとともに、各種文化・芸術活動に関する広報を行い、住民が文化・芸術に触れる機会を支援します。

(3) スポーツの振興

- ①湯浅町体育協会等各スポーツ団体とも連携を深め、各種スポーツ教室や大会等の支援と参加促進を図ります。
- ②スポーツ振興の拠点となる湯浅城公園スポーツ施設や体育館、プール等の施設・設備の整備を進めるとともに、利用者のニーズや時代背景にあったスポーツ振興が活発に行える施設の充実に努めます。
- ③子どもから大人までライフステージに応じたスポーツに親しめる環境をつくるため、各種スポーツの指導者の育成に努めます。

4 - 3 歴史と文化財の保護

■関連する SDG s



■現状と課題

○本町には、醤油醸造や湯浅党、熊野古道といった様々な歴史があり、それらを伝える有形、無形の文化財が多様にあります。既にその価値を認められ、文化財指定等を受けて保全が図られているものだけではなく、未指定のものにも地域にとって貴重な文化財が多くあります。



歴史文化教室

○醤油醸造の伝統を伝える町並みが、和歌山県内では初めて、平成 18（2006）年に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。以後、選定された東西約 400m、南北約 280mの一带は保存修理等により歴史的景観を整える事業が進められ、住民が誇る歴史的な地区であるとともに、観光名所にもなっています。

○令和 3（2021）年 12 月に「湯浅町文化財保存活用地域計画」の認定を受け、地域の文化財を適切に保存・活用し、これらを郷土の誇りとして地域住民と一体となって守っていき、あわせて本町の魅力として町内外に発信していく取組を進めています。計画に位置付けられた施策を着実に実施していく必要があります。

○本町の歴史や文化財を、広く、または深く知ってもらうため、町民歴史講座の開催や地域の子どもたちへの郷土の歴史教育を行ってきました。引き続き、より積極的に多方面で進めていく必要があります。



歴史講座による遺跡見学



顯國神社での三面獅子

■施策の方向

(1) 伝建地区の保存と活用

- ①本町の歴史と伝統を色濃く残す「伝建地区」について、保存修理等を継続して推進し、歴史的風致の維持・保存に努めます。
- ②地区住民の交流の拠点として、観光客の受入施設として、伝建地区内の公開施設の適切な運用、歴史的風致を考慮した維持管理に努めます。
- ③日本遺産を活かした取組をはじめ、醤油醸造の発祥の地であり、その歴史を伝える醸造町としての伝建地区を積極的にPRし、本町への観光誘客につなげます。
- ④空家利活用、移住・定住、観光といった様々な取組と連携して、伝建地区内の建物の利活用の促進と賑わいの創出に努めます。

(2) 文化財保護の推進

- ①「湯浅町文化財保存活用地域計画」の推進により、地域の文化財の特色や現況を把握するとともに、それらの保存活用に関する取組を進めます。

(3) 歴史・文化財の普及啓発

- ①小中学校の児童生徒に対して、本町の歴史・文化・伝統に関する学習や体験を行うふるさと教育に積極的に取り組むとともに、地域の祭り等の伝統的行事への参加を促し、郷土への誇りと愛着心を育みます。
- ②町民歴史講座をはじめ、町民が歴史を学び、地域の歴史や文化の魅力に触れる機会を提供します。
- ③町民が文化財を通して歴史・文化をより身近に感じることができるよう、文化財の公開施設の設置、町有の文化財の整備・公開、文化財所有者等への協力依頼等を進めます。



てづくり醤油体験



町民歴史講座